

## 1. 報告事項

- (1) 多世代共生型施設（仮称：福祉ヴィレッジ）の整備事業（案）の経過について

## 多世代共生型施設（仮称：福祉ヴィレッジ） 整備事業（案）の経過について

### 1. 保護者説明会などの実施（8月～9月）

- ・療育センター及び保育所職員を対象とした説明会
- ・療育センター保護者説明会
- ・山崎乳児保育所保護者説明会

### 2. 要望書等の受理について（10月）

- ・療育センターの保護者会
- ・山崎乳児保育所保護者会
- ・市内全私立保育園

### 3. 意見、要望等の概要

- ・民営化に関すること
- ・多世代共生型施設に関すること
- ・事業に関すること
- ・事業計画に関すること

### 4. 意見交換（11月）

- ・療育センターの保護者会
- ・山崎乳児保育所保護者会

### 5. 予定の変更

- ・事業者の公募：平成30年度

## 説明会での意見、要望書等の概要

### 1. 民営化に関すること

- ・新しい事業者の保育指針や経営方針が分からない状態では不安。
- ・民間事業者に継続的な事業運営ができるか不安。
- ・採算重視の施設になり、サービス低下や職員の負担増になるのではないか。
- ・保護者などとの意見交換の場が無くなるのではないか。
- ・桑名市での直営を希望。
- ・市が財政難だから、民間に事業を任すのか。
- ・民営化後の市の関わりは。
- ・市の関係部署との連携が維持できるのか不安。
- ・市の事業で良い部分は、しっかりと引き継いでもらいたい。
- ・今よりも良いものにしてください。

### 2. 多世代共生型施設に関すること

- ① 浸水地域に施設を建設することについて。
- ① 災害時に、乳幼児、障害児、高齢者が日進小（一時避難施設）まで避難するのは難しい。災害に対応する建物整備や避難対策をしっかりしてほしい。
- ① 2階以上へもスロープの整備を。
  - ・体温調整や音が苦手な子どももいる。建設期間中における環境対策や安全対策などはしっかりしてほしい。
  - ・建設期間中の事業はどうなるのか。子どもが今の環境に慣れてきたので、環境の変化が不安。
  - ・雨の日の乗降に困らないよう、車寄せなどをつくってください。
  - ・医療的ケアの子、障害の子など、区分にかかわらない子育て相談の施設としてほしい。
  - ・親が精神的に頼れる施設としてほしい。

### 3. 事業に関すること

- ① 事業者、具体的な事業内容など決まっていないことが多い。
- ① 多機能型の施設がどのようなものか想像できない。
- ① 事業者の提案もあると思うが、市の具体的な事業想定はあるのか。
  - ・療育支援の中核的な施設となってほしい。
  - ・療育センターの定員や利用回数を増してほしい。
  - ・どんぐり教室などの無料の支援も継続されるのか。
  - ・職員が全て変わってしまうことが心配。
  - ・専門職の人員確保を。
  - ・共生型施設（多世代の交流）に不安を感じている。安全性の確保を。
  - ・子どもから高齢者まで支援が必要な者やその家族が集える、心が温まるような福祉ヴィレッジにしてください。

#### 4. 事業計画に関すること

- ① 詳しい説明や具体的な説明をしてほしい。
- ① まだ何も決まっていない状態なので、決まり次第、丁寧な説明を希望。
- ① 利用者が知らない間に物事が決まり、報告だけで事業が進められることに不信感がある。
- ① これからも、説明会の機会をもってください。
  - ・市長の11の重点プロジェクトで、スピード感をもってとあるが、必要なところはしっかりと時間をかけて、考えて進めていただきたい。
- ① もっと保護者との意見交換を重ね、意見に耳を傾けながら、共につくり上げていく施設にしてください。